

令和6年度
事業報告書

今帰仁村社会福祉協議会

一目 次一

1. 法人運営事業	2
(1)理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催	2
(2)今帰仁村社協人材育成事業	4
2. 地域ふれあいサポート事業	5
3. 共同募金配分金事業(社協会費・赤い羽根募金配分金)	7
(1)老人福祉活動事業	7
(2)障がい児・者活動事業	8
(3)児童・青少年福祉活動事業	9
(4)母子・父子福祉活動事業	11
(5)福祉育成・援助活動事業	11
(6)ボランティア活動事業	13
(7)歳末たすけあい配分事業	13
4. 生活福祉資金貸付受託事業	14
5. 介護予防日常生活総合支援事業(村受託事業)	15
6. 社会的孤立対策(なきじん結ネットワーク事業)	16
7. 日常生活自立支援事業	20
8. 生活支援体制整備事業	21
9. 研修会の実施	22
10. 赤い羽根共同募金	22
11. その他の活動	23
12. 介護保険事業	24
○通所介護(デイサービス)事業	24
○訪問介護(ヘルパー)事業	27
○居宅介護支援事業	29
13. 障がい福祉サービス事業	32
○児童デイサービス(スイミー)事業	32
○障がい者ホームヘルプ事業	34
○障がい者相談支援事業所アイリス	36
○ソーシャルサポートおとばの杜	38
14. 団体事務	41
○今帰仁村民生委員児童委員協議会	41
○今帰仁村老人クラブ連合会	43

1. 法人運営事業

法人の円滑な事業執行と経営並びに地域の福祉ニーズに応えていくため社協機能の充実強化を図る

(1) 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

◎ 理事会 ◎

第1回理事会

期 日 令和 6 年 6 月 6 日 (木)
場 所 今帰仁村社会福祉協議会 2 階会議室
出席者 理事 8 名 (欠席 2 名) 監事 2 名
議 案
• 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告について
• 第 2 号議案 令和 5 年度決算について
 (監事より監査報告)
• 第 3 号議案 事業職員等就業規則の一部改正 (案) について
• 第 4 号議案 第 21 期評議員の補欠候補者の推薦 (案) について
• 第 5 号議案 評議員選任・解任委員の選任 (案) について
• 第 6 号議案 第 1 回評議員選任解任委員会の開催について
• 第 7 号議案 令和 6 年度第 1 回 (定時) 評議員会の開催日時及び、場所並びに議事に付すべき事項について

第2回理事会

期 日 令和 6 年 8 月 23 日 (金)
場 所 今帰仁村社会福祉協議会 2 階会議室
出席者 理事 8 名 (欠席 2 名)、監事 2 名
議 案
• 第 1 号議案 令和 6 年度資金収支一次補正予算 (案) について
• 第 2 号議案 積立金取り崩し (案) について
• 第 3 号議案 定款の一部改正 (案) について
• 第 4 号議案 正規職員の給与規程の一部改正 (案) について
• 第 5 号議案 事業職員等給与規程の一部改正 (案) について
• 第 6 号議案 第 21 期評議員の補欠候補者の推薦 (案) について
• 第 7 号議案 第 2 回評議員選任解任委員会の開催について
• 第 8 号議案 第 2 回評議員会の開催日時及び、場所並びに議事に付すべき事項について

報告事項 会長の職務執行状況について

第3回理事会

期 日 令和 7 年 3 月 6 日 (木)
場 所 今帰仁村社会福祉協議会 2 階会議室
出席者 理事 7 名 (欠席 3 名) 監事 2 名

- 議案
- ・第1号議案 令和6年度資金収支二次補正予算（案）について
 - ・第2号議案 令和7年度事業計画（案）について
 - ・第3号議案 令和7年度資金収支予算（案）について
 - ・第4号議案 理事・監事・評議員選任規程の一部改正（案）について
 - ・第5号議案 第23期・理事補欠候補者の推薦について
 - ・第6号議案 役員等の報酬等に関する規程の一部改正（案）について
 - ・第7号議案 事業職員等就業規則の一部改正（案）について
 - ・第8号議案 事業職員等給与規程の一部改正（案）について
 - ・第9号議案 事業職員等育児・介護休業規程の一部改正（案）について
 - ・第10号議案 正規職員の給与規程の一部改正（案）について
 - ・第11号議案 役員等賠償責任保険契約について
 - ・第12号議案 第3回評議員会の開催日時及び、場所並びに議事に付すべき事項について

- 報告事項
1. 会長の職務執行状況報告
 2. 監督官庁が実施した検査又は調査結果の報告

第4回理事会

理事会議案の決議の省略について（提案）

- 議案
- ・第1号議案 正規職員の給与規程の一部改正（案）について
- ※理事全員から「同意書」をもらう。

◎ 評議員会 ◎

定時(第1回)評議員会

- 期日 令和6年6月25日（火）
- 場所 今帰仁村社会福祉協議会 2階会議室
- 出席者 評議員16名（欠席5名）監事1名
- 報告事項 第1号 第21期・評議員候補者の選任について
(委嘱状交付)
- 第2号 評議員選任・解任委員の選任について
(委嘱状交付)

- 議案
- ・第1号議案 令和5年度事業報告について
 - ・第2号議案 令和5年度決算について
(監事より監査報告)

第2回評議員会

- 期日 令和6年9月3日（火）
- 場所 今帰仁村社会福祉協議会 2階会議室
- 出席者 評議員19名（欠席3名）
- 報告事項 第1号 第21期評議員候補者の選任について
(委嘱状交付)

- 議 案
- ・第 1 号議案 令和 6 年度資金収支一次補正予算（案）について
 - ・第 2 号議案 積立金の取り崩し（案）について
 - ・第 3 号議案 定款の一部改正（案）について

第3回評議員会

- 期 日 令和 7 年 3 月 17 日（月）
- 場 所 今帰仁村社会福祉協議会 2 階会議室
- 出席者 評議員 17 名（欠席 4 名）
- 議 案
- ・第 1 号議案 令和 6 年度資金収支二次補正予算（案）について
 - ・第 2 号議案 令和 7 年度事業計画（案）について
 - ・第 3 号議案 令和 7 年度資金収支予算（案）について
 - ・第 4 号議案 第 23 期・理事補欠候補者の選任について
 - ・第 5 号議案 役員等の報酬等に関する規程の一部改正（案）について
- 報告事項 第 1 号 理事・監事・評議員選任規程の一部改正
第 2 号 監督官庁が実施した検査又は調査の結果

◎ 評議員選任・解任委員会 ◎

第1回評議員選任・解任委員会

- 期 日 令和 6 年 6 月 18 日（火）
- 場 所 今帰仁村社会福祉協議会 2 階会議室
- 出席者 委員 3 名
- 議 案
- ・第 1 号議案 第 21 期評議員の選任について

第 2 回評議員選任・解任委員会

- 期 日 令和 6 年 8 月 18 日（火）
- 場 所 今帰仁村社会福祉協議会 2 階会議室
- 出席者 委員 3 名
- 議 案
- ・第 1 号議案 第 21 期評議員の選任について

（2）今帰仁村社協人材育成事業

事業名	今帰仁村社協人材育成事業
事業内容	<p>1. 受講料助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援現任研修受講料 1 名 ・サービス管理責任者更新研修受講料 1 名 <p>2. 資格取得のための受験費用助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士国家試験受験費用 1 名 <p>3. 研修参加費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人経営セミナー ・福祉サービスに関する苦情解決セミナー ・沖縄県介護支援専門員研究大会 ・安全運転管理講習会

2. 地域ふれあいサポート事業

太陽光売電収入を活用し、公益的な取り組みとして村民の福祉向上を図る活動を実施する

事業名	さわやか地域生活さぽーと事業
目的	高齢者や障がい児・者の在宅での自立した生活を継続することや、その人らしくさわやかに地域生活が送れるように日常生活を支援していくことを目的とし実施する。
対象	村内に居住する単身世帯、高齢世帯及びこれに準ずる世帯並びに障がい児者の世帯で、心身の障がい及び疾病の理由により、日常生活を営むのに支援が必要な者。 ※既存のサービス等の利用が困難な方。多制度・資源・サービスを優先利用とし、介護保険など既存の制度に該当される方や他の資源等が利用できる方はそちらを案内します。
事業内容	・家事、買い物、外出支援（利用料：1時間500円） ・福祉車両の貸出し支援（燃料代実費）
成果・課題	・支援件数：0件・福祉車両の貸出し：8件 障がい福祉サービス（通所）等を利用されている方で、立位や歩行はじめ、様々な日常生活動作に著しい低下が確認され、介護保険の申請中に当事業利用の必要性があったが、社協職員で訪問業務をしながら電動ベッドや、ポータブルトイレの設置、排泄物の処理、移動介助等を協力して支援することができた。
次年度の目標	生活支援コーディネーターを中心に、制度の狭間で困っている方々の把握を行い、関係機関の連携の下に必要な支援へ繋げたい。

事業名	今帰仁村社協ユーモア川柳大会
目的	地域住民が感じている「さまざまな想い」を共有すること並びに、共に前向きな気持ちで、健康的な生活を推進する「新たな交流の場」として「今帰仁村社協 ユーモア川柳大会」を実施する。
期日	募集：令和6年7月22日（月）～8月30日（金） 入賞発表：社協だより「太陽12月号」へ掲載 授賞式：しゃきょーふれあいまつりのプログラム内にて
対象	今帰仁村民
事業内容	「スポーツ」をお題に川柳を募集。入賞者の表彰及び副賞を授与 ○一般の部 ★会長賞1名(1万円) ★副会長賞1名(5千円) ★特別賞各1名(3千円)★ ●会長賞：貯筋運動 明日へつながる 一歩かな 渡久山 チヨ子(運) ●副会長賞：スケボーに 恋した恋(ここ)が 金メダル 玉城 真光(謝) ●事務局長賞：こどもらの なす技すべて 老い感ず 與那嶺 清子(仲) ●事務局次長賞：足もつれ 壮年ソフト 球取れず 仲里 正史(越)

	<ul style="list-style-type: none"> ●総務財政課賞：初バスケ ボールが逃げて おにごっこ 与那覇 麻紀(今) ●介護・障がい福祉課賞：持久走 トップでゴール 夢の中 澤嶺 初子(運) ●就労支援課賞：上がらない 私の足と 年金は 比嘉 マツ子(越) ●地域支援課賞：徒競走 後ろ気になるも 誰もいはず 豊里 房子(上) <p>○小学生・中学生の部</p> <p style="text-align: center;">★会長賞1名(3千円分) ★副会長賞1名(2千円分) ★特別賞各1名(千円分)★</p> <p>※小中学生の部の副賞は、図書カードとなっております。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●会長賞：盛り上がる 全力応援 涙出す 新里 咲葵(兼小) ●副会長賞：顧問しか 知らない明日の 日程表 宮里 愛莉(今小) ●事務局長賞：部活でね ゆうしようしたゾ 夢だった 大城 夕乃(兼小) ●事務局次長賞：バスケット ボールはスイカ なきじんそん 上野 桜都(今小) ●総務財政課賞：運動会 気合を入れて 走り出せ 大城 乙羽巴(兼小) ●介護・障がい福祉課賞：大好きな オリンピック 夢を持つ 島袋 七帆(兼小) ●就労支援課賞：しあいまえ きんちょうしすぎ はきけする 池野 太一(兼小) ●地域支援課賞：帰宅部も ダッシュをすると 運動部 玉城 逢瑛(兼小)
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・応募総数：172作品（一般の部：95作品、小中学生の部：77作品） ・一般の部、小中学生の部と部門を分けた事で受賞者が増えた。
諸経費	45,760円

事業名	しゃきょーふれあいまつり
目的	まつりを通して地域住民同士はじめ、ボランティアや社協職員がふれあいを楽しみながら、参加する皆様に地域課題ならびに、社協が取り組む支援活動に关心を持っていただくこと、また誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて地域の方々が地域福祉活動へ参加するきっかけを創出することを目的に開催する。
期日	令和6年9月29日（日）午後1時30分～午後5時
場所	今帰仁村社会福祉会館内
対象	今帰仁村民
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子スイカ割り ・チョコバナナ体験 ・豚丸焼きのふるまい ・ステージ ・おとばの杜バザー ・たまり場の小物販売など ・ゲームコーナー ・てい～だ軽食販売 ・1人1品持ち寄り運動
成果・課題	<p>目標に向け、準備から当日の運営、片付けまで各事業の職員が協力し合って取り組むことができた。地域の皆様に社協についての理解を深めていただくこと並びに、1人1品持ち寄り運動にて福祉活動へ参加するきっかけを作ることができた。</p> <p>参加者に楽しんでいただくため、ボランティア団体等の紹介など様々な取り組みでステージ等を充実させたいが、開催時間が短いこともあり難しい状況である。</p>
次年度の目標	地域の方々に社協事業に対する理解を深めていただき、地域福祉活動や事業の利用者を増やすことができるよう各事業担当者で工夫する。
諸経費	675,800円

事業名	福祉バス運行事業	
目的	今帰仁村社会福祉協議会及び村内の社会福祉団体の活動推進を図り、社会福祉向上に寄与することを目的とする。	
対象 (実績)	(1) 村老人クラブ連合会 (2) 村民生委員児童委員協議会 (3) 村内福祉団体（身障協、母子会、心身障がい児（者）親の会） (4) 村役場、村議会、村教育委員会 (5) 区長会及び各字公民館 (6) 村内小中学校並びに北山高校 (7) 社協 (8) その他	0件 0件 0件 8件 2件 1件 1件 6件
成果・課題	・運行件数 合計(18件)※前年比48件減（4月末よりエアコン使用不可）	
事業費	【収入】48,000円 【支出】80,421円 (燃料、修繕等)	

事業名	生活用具貸与事業	
目的	地域住民の皆様が安心安全に在宅生活を営めるよう、車いす等の生活・福祉用具の貸与を無料で行う。	
成果・課題	・備品などの貸与： 5件（スカットボール、もちつきセット等） ・福祉用具の貸与： 48件（車いす、シャワーチェア・キャリー、松葉杖、歩行器）	

3. 共同募金配分金事業(社協会費・赤い羽根募金配分金)

社協会費や赤い羽根募金を財源に、地域住民が安心して住み慣れた地域で生活が営めるよう、各種地域福祉活動や団体の支援などを行う

(1)老人福祉活動事業

高齢者が地域で安心して生活が送れるよう関係機関・団体等と協働し各種支援を行う

事業名	①老人会育成助成金の交付
目的	村老連が、活発に活動に取り組んでいただくこと並びに、地域福祉に寄与することを目的に助成する。
期日	令和6年8月16日
助成額	30,000円

事業名	②チャービラサイ！運動
目的	村内で在宅に暮らす80歳以上の人暮らし高齢者宅を訪問し、安否確認並びに地域と繋がり安心して暮らせるよう激励することを目的とする。また、区長や民生委員児童委員、なきじん見守り隊と連携・協働することで、地域の見守り・声かけ活動の推進を図る。
協力	村区長会、村民生委員児童委員協議会、なきじん見守り隊（訪問活動等）
期日	令和6年7月1日（月）～7月31日（水）
場所	今帰仁村内
対象	村内に居住する80歳以上の人暮らしの高齢者
事業内容	生活支援コーディネーターが、区長、民生委員児童委員、なきじん見守り隊等と連携して対象世帯を訪問し、安否確認並びに粗品の進呈を行う。
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・お会いできた方 : 176名 ・お会いできなかつた方 : 5名 ・お会いできず安否不明 : 11名 ・施設入所・入院中の方 : 193名 ・転居している方 : 20名 ・他界された方 : 4名 ・世帯分離で独居の為、対象外となった方 : 88名
次年度の目標	民生児童委員や、見守り隊、区長に協力いただき、独居高齢者の安否や生活状況について把握することができた。 対象者で2件の孤独死のケースあり、地域住民の皆様と共に見守り隊の設置など、今後の見守り体制強化を推進していきたい。
諸経費	269,664円

（2）障がい児・者活動事業

地域で自立した生活が送れるよう、当事者（団体）との各種活動や支援活動に取り組む

事業名	①障がい者団体育助成金の交付
目的	障がい児・者団体が活発に活動に取り組んでいただくこと並びに地域福祉に寄与することを目的に助成する。
期日	令和6年8月16日
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・今帰仁村身体障害者福祉協会 ・今帰仁村心身障がい児者親の会 ・手話サークル耳の輪なきじん ・なきじん耳マーク普及会
諸経費	120,000円（各団体へ3万円を助成）

事業名	②ちゃ～がんじゅ～ピクニック事業
目的	社会見学の移動や介助員の確保などを行い、会員の活動をサポートする。
期日	令和6年12月5日（木）
場所	うるま市
対象	今帰仁村身体障害者福祉協会会員
事業内容	村身障協の社会見学が円滑に行われるようサポートする
成果・課題	マイクロバスの運転手、会員の介助で活動を支援することができた。
次年度の目標	次年度も身障協と連携を取り、活動をサポートしていきたい。
諸経費	8,190円

事業名	③新春ふれあいもちつき大会
目的	地域の方々やボランティア等の福祉関係者がふれあい、相互の親睦を図る事で、社協活動や地域福祉に対しての理解を深めていただく。
ボランティア	せんざい作り・もちつき補助：今帰仁うりずんの会、今帰仁木踊会 もち配布：北山高校ボランティア部、今帰仁村ジュニアリーダー
期日・場所	令和7年1月18日、村社協中庭にて
対象	今帰仁村民
事業内容	もちつき体験・試食、ステージショー、おとばの杜バザー
成果・課題	●北山高校ボランティア部も加わり、計24名の協力があった。「1品持ち寄り運動」受付ブースには、個人・団体様より107件の寄贈があり、フードバンク活動の取り組みの認知が広がっていると感じた。 ●課題：「もち配布コーナー」の列がコンパクトに収まるよう、対策を行う。各作業場に社協職員を配置し、スムーズな運営を図る。
次年度の目標	おとばのパンの売れ行きが良かった為、次年度は販売数の増加が可能か検討を行う。社協の資料やチラシを設置しPRを行う。
諸経費	149,613円

(3)児童・青少年福祉活動事業

子ども達の健やかな成長を祈念し、地域でのふれ合いや各種激励事業を実施する

事業名	①夏休み親子ふれあい教室
目的	親子で協力すること並びに、子育て家庭への支援活動へ繋げる。
期日	令和6年7月27日（土）午後2時～午後4時
場所	今帰仁村社会福祉協議会 2階 会議室
対象	今帰仁村内の小学生とその保護者（必ず保護者と参加）
参加費	一世帯500円
事業内容	沖縄の粘土を使用し、シーサー付きの表札制作を行う。 (講師：水野備子 氏<アトリエ ろくまま>)
成果・課題	・前回より5組増やしての開催することができた。
次年度の目標	次年度も、親子や参加者同士の交流が持てるよう計画する。
諸経費	20,396円

事業名	②赤い羽根文庫の贈呈事業
目的	募金の使途、助け合いの必要性を理解してもらう事を目的に実施する。
期日	令和6年10月～1月
場所	各学校、保育園、こども園にて贈呈
対象	・村内の保育園、小学校、中学校、高等学校（輪番制） 保育園：2万円／1か所につき、小中高校：4万円／1か所につき
事業内容	・対象校が選定した図書を購入し、各校にて贈呈を行う。
成果・課題	北山高等学校、天底小学校、認定こども園まほろば保育園へ贈呈を行った。
次年度の目標	対象校と連携しながら児童・生徒の健全育成に寄与する。
諸経費	98,671円

事業名	③しゃきょー わくわく♪クリスマスパーティー
目的	親子のふれあいをはじめ、参加者が交流を楽しむこと並びに、地域の子ども達の健やかな成長を願い、子育て家庭支援の一環として開催する。
共 催	今帰仁村母子寡婦福祉会
協 力	相原一枝さん、北山高校吹奏楽部、クリスさん
期 日	令和6年12月21日（土）午後2時～午後3時30分
場 所	今帰仁村コミュニティセンター 2階ホール
対 象	村内の小学生以下のこども（1歳児～6年生）と保護者
参加費	一世帯200円
事業内容	ステージ鑑賞や抽選会、サンタとのふれあい等楽しい時間を過ごす。
成果・課題	・日頃から本会と関わりのある事業所より多くの景品寄贈があり、参加者も喜んでいる様子だった。
次年度の目標	・地域で活動している団体へ声掛けを行い、プログラム内容を増やしたい。
諸経費	111,590円

事業名	④ピカピカの1年生激励会
目的	新たな生活を送る児童の門出を祝い、健やかな成長を祈念することを目的に開催する。
期 日	令和7年3月4日（火）
対 象	小学校または特別支援学校へ入学する村内のこども達
事業内容	村内の保育園を訪問し激励会を行う。
成果・課題	対象児はじめ、他の園児たちにも楽しんでもらうことができた。
次年度の目標	対象児の親御さんへ社協の取り組みについての理解を深めていただく機会としたい。
諸経費	100,084円

事業名	⑤新中学一年生入学応援助成事業
目的	今帰仁村内の準要保護世帯を対象に、新年度に中学校入学を迎える児童へ、入学応援として助成を行い、その子たちの健やかな成長を祈念するとともに、社協活動の理解を広げ、今後の支援活動へ繋げることを目的に実施する。
協 力	今帰仁村教育委員会（準要保護世帯へ事業案内チラシ送付）
期 日	令和7年3月17日（月）～21日（金）の期間に助成金を交付。
場 所	対象者の保護者に社協へ来所いただき、応援金の受渡しを行う。
対 象	準要保護世帯で令和7年4月に新中学一年生となる児童
事業内容	村教育委員会に協力いただき、対象世帯へ事業案内チラシを送付。助成申請のあった世帯へ対象児童一人当たり1万円の応援助成金を交付する。
成果・課題	教育委員会の就学援助担当職員より、今年度の対象児童が13名と伺っていたが、7名からの申請に留まった。
次年度の目標	次年度も村教育委員会に協力いただき、支援対象世帯へ案内を行う。
諸経費	71,430円

(4)母子・父子福祉活動事業

母子父子家庭との関わりや、母子寡婦福祉会、ゆいはあと北部等の関係機関との連携を図りながら子育て家庭の支援を行う

事業名	母子寡婦福祉協会育成助成金の交付
目的	村母連が活発に活動に取り組んでいただくこと並びに地域福祉に寄与することを目的に助成する。
期日	令和6年8月16日
助成額	30,000円

(5)福祉育成・援助活動事業

地域づくり支援や、住民への福祉教育を通して地域福祉の推進を図る

事業名	①令和6年度 今帰仁村社協の主な事業予定表の発行
目的	地域住民に社協活動について理解していただくことを目的に発行する。
期日	令和6年4月5日
対象	村内各世帯へ配布
事業内容	社協の定例及び、月毎の取り組みについてお知らせする。
成果・課題	社協会費の使途や社協活動について理解を深めていただけた。
次年度の目標	地域の皆様に社協の取り組みに理解を深めていただくよう発行する。
諸経費	103,950円

事業名	②地域交流助成事業
目的	地域住民が交流を通して、相互の関係構築をはじめ、区民同士での見守り・声掛け・助け合いの意識を醸成し『誰もが住みなれた地域で安心して生きがいを持ち、生活できる福祉のまちづくり』を応援する事を目的に実施。
期日	令和6年6月5日
対象	4字／年へ助成 ※令和6年度は仲尾次、崎山、天底、勢理客へ助成
事業内容	助成金（1字あたり5万円）を交付。
成果・課題	仲尾次区：新春の集い、豊年祭DVD鑑賞会に活用 崎山区：新春の集い（グランドゴルフ後に懇親会）に活用 天底区：ゴミゼロクリーン作戦、天底夏まつり、敬老会に活用 勢理客区：新年会（パークゴルフ後に懇親会）に活用
次年度の目標	次年度対象：平敷、越地、呉我山、湧川
諸経費	200,000円

事業名	③福祉団体助成金交付
目的	民児協と青年会が、活発に活動に取り組んでいただくこと並びに地域福祉に寄与することを目的に助成を行う。
期日	令和6年8月16日
対象	今帰仁村民生児童委員協議会（20万円）、村青年団協議会（3万円）
諸経費	200,000円 ※村青年団協議会は申請無し

事業名	④福祉教育
目的	福祉が身近なものであるということを感じてもらうこと、また、「誰もが安心して暮らせる今帰仁村」の大切な一員であることを認識し、互いの違いを認め合いながら、「支え合って生きていく地域づくり」に向けて行動することを目的に実施する。
対象	村内の小・中・高校
実施期日 内容	<p>天底小学校 5年生(35名)</p> <p>第1回令和6年9月4日 (水) 講師:村社協 地域支援課 上野加威</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入授業、ユニバーサルデザインとバリアフリーについて <p>第2回令和6年9月6日 (金) 講師:村役場職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今帰仁村役場見学、振り返り
成果・課題	「福祉とは何か」、「誰のためのものか」等、福祉が身近なものであると感じてもらうことや、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等について学習し、村役場の見学を通して誰もが利用しやすいよう工夫された点について学び、気づきを得ることができた。
次年度の 目標	地域の課題を共有し、解決に向け自分の立場で何ができるのかを考え、行動へ移すことができるよう共に学んでいきたい。
諸経費	0円

事業名	⑤災害見舞金の支給
目的	暴風、豪雨、火災等により精神的、身体的に著しい被害を受けた村民に対し、災害見舞金の支給を行うことで、災害により被害を受けた村民の福祉及び生活援助に資することを目的とする。
期日	令和7年1月30日
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・弔慰金は、災害により死亡した者(その者の故意又は、重大な過失によって死亡した者を除く)の遺族に対して支給する。 ・見舞金は、災害により被害を受けた世帯に対し支給するものとする。 ・災害による住家の被害は、全壊・全焼若しくは半壊・半焼等世帯とする。 ・水害による住家の流失、又は床上浸水被害を受けた世帯とする。
諸経費	60,000円 (火災1件)

事業名	⑥社協だより「太陽」の発行
目的	地域の方々に社協の活動を理解していただくことを目的に発行する。
発行	毎月
対象	今帰仁村各世帯へ配布
事業内容	住民に向け、社協活動や地域の福祉活動についてお知らせする。
成果・課題	社協の取り組みをはじめ、老人クラブ、民生児童委員、また地域活動に励む住民や団体等の紹介を行った。
次年度の 目標	社協や地域福祉活動等について関心を持っていただける広報誌づくりに努める。
諸経費	617,760円 *地域ふれあいサポートより残り 697,840円

(6)ボランティア活動事業

ボランティア活動、市民活動を推進し、地域の福祉力向上を図る

事業名	①ボランティア団体育成助成金の交付
目的	団体が活発に活動に取り組んでいただくこと並びに地域福祉に寄与することを目的に助成を行う。
期日	令和6年8月16日
対象	なきじん木踊会、今帰仁うりづんの会、子どもに寄り添う大人の会「とまり木」
諸経費	90,000円 (各団体3万円)

事業名	②ボランティア活動推進校指定事業
目的	村内の小中高校を対象に、ボランティア活動や体験学習を通して自発性を育て、地域活動への参加推進を図る福祉教育の一環として実施する。
期日	令和6年8月16日
対象	村内の小・中・高校
事業内容	1校あたり2万円の助成を行う。
成果・課題	兼次小：兼次小オルスター感謝祭、学校きれいにし隊、地域花いっぱい運動 今帰仁小：ゴミゼロ運動(仲原馬場にて、参加生徒277名) 今帰仁中：地域環境整備作業(村民の浜にて、参加生徒61名) 北山高校：まほろば保育園「保育フェスタ」、肝清祭、校内・校外清掃活動
次年度の目標	天底小の助成金活用が無かった為、全対象校に活用いただきたい。
諸経費	80,000円 ※天底小学校の申請は無し

(7)歳末たすけあい配分事業

生活困窮世帯の支援を目的に、募金活動や世帯の実態把握、支援活動に取り組む

事業名	歳末たすけあい運動
目的	新たな年を迎える時期に、経済的支援を必要とする方々の実態把握を行い、実情にあった支援活動を展開することを目的に実施する。
協力	地域の皆様(募金)、村区長会、村民生委員児童委員協議会(募金運動)
期日	募金活動：10月～11月、対象者調査：11月、支援金配布：12月
対象	様々な事情により生活が困窮している世帯 ※生保受給世帯も含む
事業内容	・区長会の協力を得て、戸別募金活動を行う。 ・民生児童委員や区長の協力を得て、支援対象者調査、支援金(1世帯につき3千円)の配布を行う。
成果・課題	地域の皆様に100円/戸のご支援をいただき、区長や民生児童委員の協力を得て困窮世帯等へ支援金を届けることができた。 ※支援数：90世帯(141人)
次年度の目標	民生・児童委員が負担無く対象者調査等が行える方法を検討し、村内の実情に合わせた支援が行き渡るよう柔軟に取組んでいく。また、母子・父子世帯や65歳未満の困窮世帯へ助成もいきわたるよう案内を行う。
諸経費	274,372円

4. 生活福祉資金貸付受託事業

事業名	生活福祉資金貸付受託事業(沖縄県社協からの受託事業)
受託費	11,703,691円 生活福祉資金社協事務費、つなぎ資金事務費 特例貸付事務費、債権管理事務費等)
目的	低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯などで生活に一時的に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部を貸し付けるとともに、民生委員や社協による相談支援を行うことによって社会参加の促進を図る。
対象	ア)低所得世帯:必要な支援を受けることで自立できると認められる世帯であり、必要な資金を他から借り受けることが困難な世帯（市町村民税非課税程度）。 イ)障害者世帯:身体、療育、精神障害者手帳の交付を受けた者（障害者総合支援法によるサービス利用者等これと同程度と認められる者を含む）の属する世帯。 ウ)高齢者世帯:65歳以上の高齢者の属する世帯。
相談 貸付件数	<p>(1)総合支援資金（相談のべ86件 貸付：0件） 失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を受けることにより自立が見込まれる世帯に貸付を行う。</p> <p>(2)福祉資金(緊急小口資金)（*相談のべ99件 貸付：0件） 緊急かつ一時的に生計維持が困難となった場合に、必要な少額の費用の貸付。 福祉資金(福祉費・生活復興支援)（*相談のべ59件 貸付：1件） 日常生活を送る上で、又は自立生活に資するため一時的に必要と見込まれる費用を貸付。 冠婚葬祭に必要な経費 200,000円</p> <p>(3)教育支援資金(修学費・支度費)（*相談のべ14件 貸付：0件） 低所得世帯に属する者が、高校・大学・専門学校等の修学に際し必要な経費「教育支援費」と入学の際に必要な経修学支度費」の貸付。</p> <p>(4)不動産担保型生活資金（*相談0件 貸付：0件） お住まいの居住用不動産を担保に、将来にわたり住居に住み続けるための生活資金の貸付。</p> <p>(5)臨時特例つなぎ資金（*相談のべ0件 貸付：0件） 住居のない離職者で公的給付制度または公的貸付制度の申請を受理されている者、かつ給付が始まるまでの生活に困窮している方への貸付。</p>

5. 介護予防日常生活総合支援事業(村受託事業)

高齢者の健康維持・増進、また、生きがいづくりを支援し、社会参加の促進を図る

事業名	社協活き生き教室
目的	高齢者の健康増進及び心身機能の低下を抑制するとともに、家に閉じこもりがちな虚弱高齢者に対し、通所により各種サービスを提供することによって、生きがい作りと自立生活を支援し、併せて社会参加の促進を図ることを目的とする。
期 日	毎週（月）（木）（金）・・・利用者は原則1回/週の利用
場 所	社協2階 活き生き教室
受託費	2,280,000円
対 象	村内に居住する概ね65歳以上の人暮らし老人等で、生活機能の維持・向上が必要と認められた方。
事業内容	教養講座（健康、生きがい関係）、創作活動、手芸・木工・絵画等の趣味活動、高齢者向け体操等、健康チェック、その他（遠足、ドライブ） ★サービスは個別の介護予防ケアプランに基づき、体操指導等を取り入れ、趣味活動や、生きがい作り、食事の提供を行うものとする。 ★半年に1回、個別のモニタリングを実施し、必要に応じて包括支援センターと担当ケアマネージャーと情報共有を行う。
利用料	利用料：300円／回、食事代：400円
利用者 状況	実施回数累計153回、利用のべ件数：846回 利用者人数名・・・18名（令和7年3月31日現在）
効果・課題	包括支援センターの短期集中体操教室が本事業所で実施され、一緒に介護予防体操に取り組む事ができることになった。また、集中教室の利用者が事業終了後も、希望があれば引き続き活き生き教室を利用し体操を継続できるようになり喜ばれている。
次年度の 目 標	次年度から一般介護予防事業となるため、65歳以上であればどなたでも利用することができるようになる。（木）の午後は買い物支援プログラムを予定しており、介護予防に加え、移動手段が無く買い物にお困りの方のニーズ解消にも繋げていきたい。

6. 社会的孤立対策(なきじん結ネットワーク事業)

誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、住民はじめ、民間事業者、関係機関等がそれぞれの役割を担い、連携・協働できるネットワークを構築し、地域ぐるみで課題に向き合い、解決を図る取り組みを展開する

事業名	なきじん結ネットワーク事業														
目的	<p>少子高齢化や核家族化の進行に伴い、地域住民同士の支え合いも希薄になり、地域社会ではひきこもりや自殺、虐待、孤立死など複雑多様化した問題が広がる中、医療・保健・福祉の公的な社会資源の充実と同様に、地域に暮らす住民が主体となり、お互いを気にかけ、助け合う（ゆいまーる）地域支援体制が求められている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、住民はじめ、民間事業者、関係機関等がそれぞれの役割を担い、連携・協働できるネットワークを構築し、地域ぐるみで課題に向き合い、解決を図る取り組みを展開することを目的とする。</p>														
事業費	【支出】1,435,254円														
対象	今帰仁村の皆様														
事業内容	<p>(1)協議体(なきじん結ネットワーク連絡会)の設置</p> <p>地域ぐるみで課題に向き合い、解決を図るネットワークの形成を目指し、各構成団体の強みを生かした社会資源開発、課題解決に向けた具体的方策の検討を行う。</p> <p>なきじん結ネットワーク連絡会員</p> <table><tbody><tr><td>①村身体障害者福祉協会</td><td>⑧村青年会</td></tr><tr><td>②村民児協</td><td>⑨村区長会</td></tr><tr><td>③村母会</td><td>⑩子どもに寄り添う大人の会とまり木</td></tr><tr><td>④村心身障がい児者親の会</td><td>⑪なきじん木踊会</td></tr><tr><td>⑤村老連</td><td>⑫今帰仁うりづんの会</td></tr><tr><td>⑥村役場福祉保健課</td><td>⑬村教育委員会</td></tr><tr><td>⑦村地域包括支援センター</td><td>⑭村社会福祉協議会</td></tr></tbody></table> <p>(2)住民主体の地域福祉活動の創出</p> <p>①見守り活動(なきじん見守り隊(ア)事業者、(イ)有志住民)設置について</p> <p>村内の事業者等の皆様へ、業務中に村民の生活に異変等の気づきがあった場合は、社協や関係機関に連絡を行っていただくようお願いしている。また、住民主体のなきじん見守り隊の全字での設置に取り組んでいる。</p> <p>(ア)協力事業者のなきじん見守り隊: 18か所</p> <p>今帰仁村民児協、北観タクシー三笠営業所、沖縄タイムス今帰仁販売店会、今帰仁郵便局、今帰仁村役場水道課、琉球新報今帰仁販売店会、崎浜電気商会、仲宗根電化商会、日本生命保険相互会社那覇支店、沖電名護支店、座間味プロパン、コープおきなわ、今帰仁診療所、ヤカルト北部営業所、今帰仁プロパン、農協今帰仁支店、座間味タイヤ、前吉鉄工所</p>	①村身体障害者福祉協会	⑧村青年会	②村民児協	⑨村区長会	③村母会	⑩子どもに寄り添う大人の会とまり木	④村心身障がい児者親の会	⑪なきじん木踊会	⑤村老連	⑫今帰仁うりづんの会	⑥村役場福祉保健課	⑬村教育委員会	⑦村地域包括支援センター	⑭村社会福祉協議会
①村身体障害者福祉協会	⑧村青年会														
②村民児協	⑨村区長会														
③村母会	⑩子どもに寄り添う大人の会とまり木														
④村心身障がい児者親の会	⑪なきじん木踊会														
⑤村老連	⑫今帰仁うりづんの会														
⑥村役場福祉保健課	⑬村教育委員会														
⑦村地域包括支援センター	⑭村社会福祉協議会														

事業内容	(イ)有志住民のなきじん見守り隊：8字 与那嶺区見守り隊、越地区見守り隊、天底区見守り隊、崎山区見守り隊 謝名区見守り隊、勢理客区見守り隊、平敷区見守り隊、呉我山区見守り隊
	②居場所づくり活動設置について 住民が自主的に企画・運営し、住民相互の支え合いにより仲間づくりをはじめ、交流の場として社会的孤立感の解消、健康の維持向上等を幅広く図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる居場所づくりを行う。 (ア)ふれあいサロン(村社協にて毎週月・金曜日実施) <u>のべ93回実施</u> (イ)ミニデイサービス(各字公民館にて実施) ①今泊区 (6回実施) ⑤謝名区 (12回実施) ②兼次区 (11回実施) ⑥仲宗根区 (5回実施) ③諸志区 (11回実施) ⑦湧川区 (11回実施) ④平敷区 (6回実施) ⑧古宇利区 (8回実施)

(3)ネットワーク機能の構築

①地域相談窓口「シマ～のなんでも相談会」設置について(毎月1回)

地域に暮らす一人一人の「社会的孤立」を防止すべく、各字の公民館を拠点に区長や書記、民生児童委員、社協職員が協働して、住民の小さな困りごとから拾い上げ、必要な支援に迅速に繋げることを目的に実施する。

(4)その他の活動

事業名	今帰仁村小地域福祉活動「フードバンク事業」
目的	困窮世帯へ食料品等を提供しながら自立の援助を行う。
協力	地域の皆様 (支援品の持ち寄り)
期日	通年
対象	生活困窮世帯 (緊急に支援が必要な世帯)
事業内容	・緊急に支援が必要な生活困窮世帯へ食料等を提供しながら、就労の支援や生活保護等の公的支援への橋渡しを行う。
成果・課題	・利用数：のべ112件 ・物品提供者数：① 77件：個人・団体(事業者・連携法人等)・社協職員 ②240件：社協行事 (まつり133件、もちつき107件) 課題：パーソナルセンターや生活保護等の福祉制度やサービスの情報提供を行うも、同一世帯の連続利用が多く見られた。
次年度の目標	課題に対し、次の制度・サービスへ橋渡しができるよう、フード提供の際に細かなヒアリングや支援を行っていきたい。



事業名	小規模法人ネットワーク化事業(ちゅいしいじい事業)
目的	<p>少子高齢化や核家族化の進行など、社会環境等の変化による地域の福祉ニーズの多様化を踏まえ、社会福祉法人等が自らの創意工夫に基づき、地域貢献事業を積極的に展開していくことが求められている。</p> <p>これらのニーズに対応した地域の福祉サービスの一層の充実が図られるよう、小規模法人ネットワークの構築・協働事業の実施等を推進することを目的とする。</p>
実施主体	今帰仁村社会福祉協議会
参画事業者	<p>1. 社会福祉法人乙羽会 6. (有) ほしくば</p> <p>2. 医療法人光風会 7. 今帰仁村地域包括支援センター</p> <p>3. 社会福祉法人あめそこ保育園 8. 社会福祉法人今帰仁村社協</p> <p>4. 社会福祉法人認定こども園まほろば保育園</p> <p>5. HITOWA ケアサービス株式会社イリーゼ今帰仁</p>
事業内容	<p>(1)法人間連携プラットフォームにおける取組内容</p> <p>①第1回連絡会(令和6年8月23日(参加:7法人等))</p> <p>参画法人が主体となる「法人連携型居場所づくり」の実施に向け、現在社協にて先行的に取り組んでいる“みんなでつくる居場所「だんらん」”をどのように法人連携型へ移行するかグループワークにて意見交換会を行った。実施場所や役割（職員派遣など）についての協力、その他にも予算や法人等の人員不足についての課題点など、参加者で取組実施に向け、様々な意見を話し合う事が出来た。</p> <p>②第2回連絡会(令和7年2月20日(参加:5法人等))</p> <p>社協にて先行的に取り組んでいる「居場所づくり」を、参画法人連携型での実施に向け、具体的な協議を行った。</p> <p>実際に、「法人連携型居場所づくり」の要項を参加者で確認し修正や、実施するに当たり、法人等へ同意確認書を取るかどうか？について等、みんなで意見交換を行い、取組に向け少しづつ内容をまとめていく事ができた。</p> <p>(2)法人間連携の取り組み</p> <p>①法人間連携フードバンク事業</p> <p>参画法人が「1人1品持ち寄り運動」に取り組み、生活困窮世帯への支援活動（フードバンク事業）で活用される食料品等の確保を行った。</p> <p>②法人連携なんでも相談窓口</p> <p>参画法人各々が利用者等から拾い上げた困り事を、法人間連携を図り、迅速に支援に繋げる。</p>
効果・課題	・「法人連携型居場所づくり」の意見交換会を通し、各法人等の強み（専門性）を共有する機会となった。
次年度の目標	・参画法人が協働して行える地域貢献活動の実施についてや、地域ニーズについてなどの情報交換ができるようにする。

事業名	みんなのたまり場(子ども・若者支援)
目的	子どもや若者のさまざまな相談・支援として関係機関と連携し、就職支援、自宅訪問(アウトリーチ)、本人と家族への相談支援を目的とする。
協力	仲吉真里さん(ボードゲーム等)、山本祐香(Happy more くくる)
期日	毎月2回の活動(ボードゲーム等)
場所	社協2階みんなのたまり場(活動日以外はフリースペースとして利用可)
対象	村内に住む、引きこもりの若者
事業内容	<p>☆社会参加に向けた就労支援(仕事関連の情報提供、職場見学、就労体験、パソコン指導・練習など)を行う。</p> <p>☆村内の中学校、教育相談室、とまり木の会(親の会)と、情報交換・連携を取り、気になる若者の把握を行い、共通理解をした上で各関係機関と役割分担をしていく。</p> <p>☆毎月利用者宅を訪問し本人や保護者と対話から現状の聞き取りを行う。</p> <p>☆社協が行う行事への参加協力。</p> <p>☆親の会へ参加…月1回(ひきこもりの子・成人のいる家族・支援者等)</p>
利用者状況	5名
効果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・村内でカフェを経営している山本祐香さんに協力していただき、利用者向けのワークショップ「米粉を使ったカップケーキ作り」を行った。実際にカフェの調理スペースをお借りし、お菓子作りを行ったり、山本さんと参加者同士で、交流を深める良い機会となった。 ・「死ぬまでやりたいこと100」という題で、2日間に分けて仲吉さんより講座をしていただいた。利用者も、改めて自身の思いと向き合う機会となり、考えが前向きになるなど、とても良い体験となった。
次年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人の自立の為に、できる事を焦らず行っていく。 ・農作業体験、スポーツ体験など)を増やし、身体を動かす機会をつくる。

事業名	みんなでつくる居場所「だんらん」
目的	地域の居場所づくりへの取組を通し、孤食や貧困対策だけでなく、地域住民間・多世代交流の機会となる事を目的に開催する。
協力	仲宗根区老人クラブ、今帰仁村民生委員児童委員
期日	毎月第4土曜日
場所	今帰仁村社協中庭、レストラン
対象	今帰仁村の皆様
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・先着30名にカレーライス・サラダの無料配布を行う。 ・参加者で談話や軽スポーツ等で遊び、交流を図る。
参加者	のべ277名
効果・課題	・子ども達と老人クラブの皆様等の多世代交流もあり良かった。
次年度の目標	・広報活動を幅広く行い、誰でも気軽に参加できる場にする。

7. 日常生活自立支援事業

事業名	日常生活自立支援事業(沖縄県社協からの受託事業)
委託費	1,128,000円
目的	高齢や障害により、一人では日常の生活に不安のある方が地域で安心して生活が送れるよう、契約に基づき、福祉サービスの利用援助を中心に、日常的な金銭管理や重要書類等の預かり・保管などの支援を通して、高齢者や障害のある方等の権利擁護を図ることを目的とする。
実施日	月曜日～金曜日 8:30～17:30
対象	判断能力が不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等であって、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方） 本事業の契約内容について判断し得る能力を有していると認められる方。
事業内容	<p>①福祉サービス利用援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな福祉サービスの利用に関する情報の提供、相談 ・ 福祉サービスの利用における申し込み、契約の代行、代理 ・ 入所、入院している施設や病院のサービスや利用に関する相談 ・ 福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続きの支援
実績	<p>②日常的金銭管理サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉サービスの利用料金の支払い代行 ・ 病院への医療費の支払いの手続き ・ 年金や福祉手当の受領に必要な手続き ・ 税金や社会保険料、電気、ガス、水道など公共料金の支払い手続き ・ 日用品購入の代金支払いの手続き ・ 預金の出し入れ、預金の解約の手続き <p>③書類等預かりサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年金証書、預貯金通帳、権利証、実印などの書類預かり <p>■利用者（R7年3月31日現在）：12名（前年比：増減なし）</p> <p>■相談援助回数：のべ244回（前年比：14回減）</p>
成果・課題	<p>新規利用者2名について、本事業の利用で適切な金銭管理を行うことで公共料金等の滞納が整理できた方や、日々の生活を計画的に安心して過ごすことができている。</p> <p>また、利用者（精神・福祉サービス利用）のADL低下に伴い、介護保険の申請、暫定期間のインフォーマルサービスでのサポートに繋げるなど、利用者の心身状況に応じた支援を関係機関（計画相談、保健師、居宅介護支援事業者、社協等）と連携して行うことができた。</p>

8. 生活支援体制整備事業

誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、住民はじめ、民間事業者、関係機関等がそれぞれの役割を担い、連携・協働できるネットワークを構築し、地域ぐるみで課題に向き合い、解決を図る取り組みを展開する

事業名	生活支援体制整備事業(村役場より受託)
目的	日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持つて在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の整備・強化を図ることを目的とする。
委託費	8,000,000円
対象	今帰仁村の高齢者
事業内容	<p>(1)協議体の設置 *協議体は、なきじん結ネットワーク連絡会と同様</p> <p>第1層協議体の設置：生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、多様なサービス提供主体との定期的な情報共有、連携強化の場、資源開発等を推進。</p> <p>○村内の福祉課題解決に向けた住民主体の取り組みについて企画・立案・方針策定等</p> <p>○地域防災・災害時避難に関する自助・共助の取り組み推進</p> <p>○行政からの情報提供や意見交換の促進</p> <p>◆令和7年度協議体連絡会 ~今帰仁村における介護予防の必要性を共に考える~</p> <ul style="list-style-type: none">・期日：令和6年7月5日（金）午後2時～午後4時・会場：今帰仁村コミュニティーセンター 2階ホール・対象：協議体メンバー、各字区長、各字民生委員児童委員・内容：<ul style="list-style-type: none">説明①「なきじん結ネットワーク事業について」説明②「なぜ、介護予防が必要なの？」グループワーク：地域の通いの場づくりについて、それぞれの立場で感じた事などを共有。 <p>(2)生活支援コーディネーターの配置</p> <p>日常生活圏域における関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら資源開発、関係者のネットワーク化、地域支援ニーズとサービス提供主体のマッチング等コーディネート業を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備にむけた取組みを推進。</p> <p>◆第1(村全域)・3層(各字)コーディネーターを配置(5名)</p> <p>生活支援・介護予防サービスの把握及び資源の創出（見守り隊、生活サポート、通いの場づくり、介護予防出前講座等）。</p> <p>*取り組みの詳細は、なきじん結ネットワーク事業の報告を参照</p>

事業内容	<p>◆毎月定例ミーティング実施 コーディネーターミーティング（毎月第4木曜日）を実施し、個々の相談内容の報告や困難事例等の解決法の検討、その他情報共有を行う。</p> <p>◆個別避難計画の作成支援 避難行動要支援者名簿登録者のうち、土砂、津波ハザード区域に居住する方を優先に、区長・民生委員・地域支援者と協働して個別避難計画の作成を支援する。順次、ハザード区域以外居住者の個別計画も作成支援を行う。</p> <p>(R7年3. 31現在)</p> <p>※避難行動要支援者名簿への登載件数：200件 ※入院入所者等を除く実際の対象者数：140名 ●個別避難計画作成支援済み：61件(※計画作成不同意者数含む)</p>

9. 研修会の実施

◎令和6年度今帰仁村社協・職員研修会

- ・令和7年3月14日（金） 村社協2階会議室にて
- ・講話：相手をその気にさせる心理学～対人コミュニケーション論入門～
- ・講師：名桜大学人間健康学部健康情報学科 木村賢一教授 氏

10. 赤い羽根共同募金

◎令和6年度 赤い羽根共同募金活動 募金実績：2,135,000円

◎今帰仁村共同募金会運営委員会の開催

第1回：令和6年9月10日（火）午後2時～ 村社協にて

- | | |
|----------|------------------------------------|
| 議案：第1号議案 | 令和5年度今帰仁村共同募金委員会事業報告について |
| 第2号議案 | 令和5年度今帰仁村共同募金委員会決算報告について |
| 第3号議案 | 令和5年度赤い羽根及び歳末たすけあい募金実績について |
| 第4号議案 | 令和6年度今帰仁村共同募金委員会事業計画(案)について |
| 第5号議案 | 令和6年度今帰仁村共同募金委員会收支予算(案)について |
| 第6号議案 | 令和6年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分事業（案）について |

第2回：令和7年3月26日（水）午後4時30分～ 村社協にて

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 議案：第1号議案 | 今帰仁村共同募金委員会運営委員の選任について |
| 第2号議案 | 令和7年度今帰仁村共同募金委員会事業計画(案)について |
| 第3号議案 | 令和7年度今帰仁村共同募金委員会收支予算(案)について |

諸経費：赤い羽根共同募金チラシ印刷代 96, 250円

11. その他の活動

災害ボランティアセンター運営応援派遣

1. 出張内容：珠洲市災害ボランティアセンター運営応援派遣
2. 出張期間：令和6年7月13日（土）～19日（金）
3. 派遣職員：地域支援課長 上野加威

【業務内容】

ボランティアを出迎え（人数確認、受付案内）、②オリエンテーション、③グループピング（運転手、リーダー決め、ニーズ紹介等を行い資機材班へ誘導）送り出し、④休憩室の準備（終了後は片付け・清掃）、⑤ボランティア活動証明書、高速道路通行証明書発行、⑥活動後のボランティアがセンター到着（活動報告書記入）、⑦報告書をもとにキントーン入力作業、⑧翌日の準備（ニーズやマッチング状況の確認）

【感想】

今回は、オリエンテーション・マッチング班の業務に携わり、全国から来られる団体ボランティアの方々が、円滑かつ安全に活動に取り組めるよう活動内容や注意点等について説明を行った。

約70名いた現地社協職員の内、被災後40名ほどが退職。残った職員で通常業務を少しづつ再開している状況であった。災害VCオリ・マチ班には現地職員1名が配置されており、現地調査班から繋げられるニーズのマッチング作業を行っていたが、本来の職種をたずねると調理員とのことだった。

本村でも突然起こりえる大規模災害に対し、災害VCの設置場所、必要機材・資材の確認や、準備予算の確保等について行政との協議が急がれること、また、災害VCの設置運営については、地域を基礎に活動しており、地域の生活課題の把握並びに解決する機能を有し、閉所後も被災者の生活支援にあたることができる社協こそが担える取り組みであると、職員一人一人が意識を持てるよう研修等を重ねていきたいと感じた。

沖縄県内社会福祉協議会災害時相互応援協定

（県外の災害への対応）

第14条 第1条の規定にかかわらず、県外で災害が発生し、九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づく応援要請または全国社会福祉協議会からの応援要請がある場合、この協定を準用する。



12. 介護保険事業

事業名	今帰仁村社協指定通所介護事業(デイサービス)
事業目的	高齢者が可能な限り居宅において、日常生活を営むことができるよう支援しました、生きがいや社会生活を促進するとともに、家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的とします。
開所日	毎週 (月) ~ (土)
事業費	【収入】 55,467,122円 【支出】 54,274,752円
利用対象	介護認定を受けている方 (要支援1, 2・要介護1~5の方)
実施した事業内容	<p>1、身体介助として、排泄、移動移乗、その他必要な身体の介護を行う</p> <p>2、家庭において入浴するのが困難な利用者に対し、必要な入浴サービスを提供。</p> <p>3、食事を希望する利用者に対し、必要な食事サービスを提供。</p> <p>4、日常生活における生活機能の維持、向上を目的として、機能訓練を行う。</p> <p>5、レクリエーションなどアクティビティサービス（余暇活動、塗り絵や作品作り等）やドライブ、行事への参加を行い、生活意欲の向上に繋げる。</p>
利用者状況	<p>利用者数：介護34名、支援2名、合計36名 (令和7年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女比：男性11名、女性25名 新規利用者：9名 平均介護度：2.17 平均年齢：87.7歳 中止利用者数：15名（施設入所5名、入院1名、死亡4名、中止5名、）
成果・課題	<p>【成果】</p> <p>基本的な感染症対策を行いつつ継続的にサービスの提供を行うことができた。日頃のレク活動を通して、最初は難しかったパズルが出来るようになったり初めて聴く民謡も徐々に覚え歌えるようになったりと成長も見られています。誕生会や季節の花見などのイベントも喜んで頂けた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症等の情報を的確に把握し、対策を行っていきます。 サービス向上の為、研修、勉強会及び職員間でのミーティングを積極的に行っていきます。 各関係者と連携をとり利用者の確保、稼働率の引き上げを行っていきたい。
次年度の目標	利用者の安全を第一に、安心して楽しく過ごせる居場所作りに努めます。レクリエーションや個別機能訓練等、サービスの質の向上を目指します。

通所介護 職員研修参加状況

月 日	内 容	場 所	参加
5月 14日	介護事業者における事業継続計画について	通所介護事業所	10名
5月 22日	個別機能訓練加算（I）（II）について	2F 会議室	3名
6月 25日	プライバシー保護、個人情報について	通所介護事業所	9名
7月 22日	応急手当について	通所介護事業所	6名
9月 26日	苦情処理について	通所介護事業所	6名
10月 17日	感染症について	通所介護事業所	7名
10月 22日	福祉サービスに関する苦情解決セミナー	沖縄県総合福祉センター	1名
1月 21日	虐待防止・身体拘束について	通所介護事業所	5名
2月 14日	腰痛予防について	児童デイサービス（スイミー）	7名
2月 26日	技術研修（入浴介助等）	通所介護事業所	7名
3月 14日	社協職員研修	2F 会議室	9名

通所介護 月別行事活動

	期日	活動内容	参加		期日	活動内容	参加
4月	11, 22	花見	41名	10月	14, 17, 22,	運動会	85名
	16, 23, 27	ヒラヤーチー作り	46名		23, 26	おやつ作り	28名
5月	22, 25, 28	おやつ作り	45名		16, 29		
					25, 26, 27,	焼き芋	81名
6月	10, 25	誕生日会	36名	11月	28, 30		
					9	誕生日会	25名
7月	15	津波避難訓練	22名	12月	17	津波避難訓練	18名
					28		
8月	13, 16, 1	風鈴回廊見学	19名	1月	28, 29, 30	桜花見	36名
	7, 16, 17.19	かき氷パーティー	71名		28	おやつ作	10名
	21	防火訓練	18名	2月	25		
	22, 27, 30	すいか割り	48名		27	防災訓練	15名
9月	2, 5	すいか割り	40名	3月	25		
	16, 24	誕生会と米寿祝	37名		27	誕生日会	20名

通所介護 利用者状況

	要支援 1	要支援 2	小計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	小計	合計	のべ 人数
4月	5	1	6	1 3	1 2	5	5	1	3 6	4 2	4 6 7
5月	4	0	4	1 3	1 2	5	6	1	3 7	4 1	4 5 9
6月	4	0	4	1 5	1 1	5	6	1	3 8	4 2	4 5 2
7月	4	0	4	1 6	1 0	4	6	1	3 7	4 1	4 5 6
8月	4	0	4	1 5	1 1	4	6	1	3 7	4 1	5 0 1
9月	4	0	4	1 3	1 0	4	5	2	3 4	3 8	4 2 7
10月	3	0	3	1 3	1 1	4	4	2	3 4	3 7	4 5 7
11月	2	0	2	1 3	1 1	5	5	2	3 6	3 8	4 1 5
12月	2	0	2	1 4	1 1	5	5	2	3 7	3 9	4 0 9
1月	2	0	2	1 3	1 1	4	6	2	3 6	3 8	3 6 0
2月	2	0	2	1 2	1 0	4	5	2	3 3	3 5	3 5 7
3月	2	0	2	1 4	9	4	5	2	3 4	3 6	3 9 9
計	3 8	1	3 9	1 6 4	1 2 9	5 3	6 4	1 9	4 2 9	4 6 8	5 1 5 9

事業名	訪問介護事業(障がいホームヘルプ事業と兼務)
事業目的	要介護（要支援・事業対象者）状態にある高齢者に対し、適正な訪問介護を提供する事を目的に行う。
開所日	月曜日～日曜日（ただし、天災その他やむを得ず業務ができない日を除く）
事業費	【収入】25,538,933円 【支出】23,529,485円
利用対象	事業対象者・要支援・要介護と認定を受けた方
実施した事業内容	<p>身体介護：入浴介助・排泄介助・清拭・身体整容・体位変換・食事介助 外出介助・更衣介助・移乗移動介助・起床及び就寝介助・服薬介助・自立支援のための見守り的援助等</p> <p>生活援助：調理・掃除・洗濯・ベッドメイク・買い物等</p>
利用者状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度利用者数：要介護31名 要支援・事業対象者20名 合計51名 男女比：男性24名、女性27名 平均介護度：要介護(2.1) 要支援(1.7) 平均年齢：要介護…84.7歳 要支援・事業対象者…85.3歳 新規利用者：要介護…14名 要支援・事業対象者…10名 利用終了者：要介護17名（入所・入院15名、死亡1名、中止1名） 要支援：5名（要介護へ2名、死亡1名、入院2名） <p>*令和7年3月31日現在</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者様に寄り添いながら支援を行うことができた。 ヘルパーとのコミュニケーションやヘルパーが調理する食事を楽しみにし、「いつもヘルパーが来るのが楽しみさー」と利用者の声が聞かれる。孤立せず安心して在宅生活を送ってもらえるよう、訪問介護サービスの必要性を改めて感じた。 今年のささやかプレゼントは、ヘルパー全員でおでんとアガラサーを調理しあり届けた。利用者からは「毎年の楽しみにしている。毎月あってもいいね」「アガラサーの甘さがちょうどよく、もっと食べたかった」などの声があった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様化するニーズに対応できるよう、職員一人一人のスキルアップに努める。

研修参加状況

	研修内容	研修場所
4月	個人情報とプライバシー保護について	訪問介護事業所
5月	接遇について	訪問介護事業所
6月	苦情について	通所介護事業所
7月	応急手当について	訪問介護事業所
8月	口腔ケアについて	訪問介護事業所
	ちゅいしいじい連絡会	今帰仁村役場
9月	災害時の対応について（業務継続計画）	訪問介護事業所
10月	感染症について	訪問介護事業所
11月	虐待防止・身体拘束防止について	訪問介護事業所
1月	認知症について	訪問介護事業所
2月	調理実習（おでん・アガラサー作り）	調理実習室
	介護技術研修（腰痛予防体操）	スイミー
	ちゅいしいじい連絡会	今帰仁村社協
3月	社協職員全体研修「相手をその気にさせる心理学」	2階会議室
	事業所評価・自己評価	訪問介護事業所
次年度 の 目標	・訪問先での困りごとの発見や関係者との連携を図る ・次世代へ向け若年層の人材確保ができるよう、魅力的な職場作り	

令和6年度 要介護度別利用状況

月	支援1	支援2	事	小計	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	小計	合計
4月	3	14	1	18	9	14	8	1	2	34	52
5月	3	15	1	19	9	13	7	2	2	33	52
6月	3	15	1	19	9	16	7	3	2	37	56
7月	3	15	1	19	10	14	7	3	2	36	55
8月	3	14	1	18	10	14	5	3	2	34	52
9月	2	15	1	18	9	13	5	3	1	31	49
10月	3	15	1	19	10	14	5	2	2	33	52
11月	3	15	1	19	9	14	7	2	2	34	53
12月	3	16	1	20	8	13	5	2	2	30	50
1月	3	15	1	19	9	14	4	2	2	31	50
2月	3	16	1	20	10	12	4	2	2	30	50
3月	2	17	1	20	10	14	3	2	2	31	51
	34	182	12	228	112	165	37	27	23	394	622

事業名	今帰仁村社協指定居宅介護支援事業
事業目的	要介護状態にある高齢者等に対し適正な居宅介護支援を提供します。利用者が要介護状態等にあっても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保険医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う。
開所日	月～土
事業費	【収入】19,488,443円 【支出】16,793,657円
利用対象	要支援・要介護認定を受けた方
利用者 状況	令和6年度利用者数：82名 ※令和7年3月31日現在（要介護1～5） 実績件数：994件 新規利用者数：33名 中止：50名（死亡9名、入院25名、施設入所5名、利用なし5名、支援へ0名、終了6名） 平均年齢：男性 82歳 女性 88歳 平均介護度：2 令和6年度利用者数：13名 ※令和7年3月31日現在（要支援1・2） 実績件数：155件 新規：3名、中止：2名（利用なし2名）
成果	1. 地域に生活する要支援・要介護者に対し、保健、福祉、医療など様々な関係機関と連携し、その人の生活を支えるための相談・連絡調整をする事で、在宅生活の継続、身体の維持向上、社会参加に繋げることができた。 2. 閉じこもりや孤立などの困難事例に対し、地域の住民も含め、本人、家族の意向に沿った調整支援を行い、状態悪化および虐待の予防に繋げることができた。 3. 在宅での看取りも含め、重度者に対する医療サービスの組み込みをはじめとした医療との連携を行い支援できた。 4. 第三者評価により事業の見直しができた。 5. 更新研修Ⅱ受講ができた。 6. 新型コロナが5類へ移行、対面での事例検討会、外部での研修会等にも参加できた。 7. 災害・感染症の業務継続計画（B C P）策定および訓練の実施が出来た 8. 感染症対策、虐待・身体拘束委員会を実施できた 9. 特定事業所加算の要件である、要介護者の家族で日常的に介護する児童（ヤングケアラー）、障がい者、生活困窮者、難病患者など、高齢者以外に支援が必要な事例検討会を実施できた。
課題	1. 新規の受入れも対応できたが、利用者の目標人数は達成できていない。 2. 介護保険の理念である「自立支援」の考え方方が十分共有されず、利用者や家族の要望のみに基づいたケアマネジメントのケースがあった。 3. インフォーマルな支援のコーディネートが、まだ十分できていない。 4. 職員が1名減、ケアマネ人員増、次世代ケアマネージャーの育成の取り組みが必要。 5. 感染症、災害時に職員・利用者の安否確認、支援調整などの検討が不十分。 6. 職員それぞれの必要なスキルの向上、自己研鑽につながる外部も含めた研修計画が必要である。

次年度 の目標	1. 介護保険における「自立支援」の考え方のもと、自立支援を前提としたケアマネジメントを行う。
	2. 自立支援に資するケアマネジメントの実現、社会資源の開発を進めるため、多職種協働のケア会議（地域支援会議等）の機能強化を図る。
	3. 地域、関係機関等と検討を通じて地域包括ケアシステムの機能を強化する。
	4. 引き続き利用者増へ取り組む。病院などへ紹介依頼。各字、地域での利用者確保。
	5. 入院、退院後、在宅での看取り時に医療との連携を強化し、適切な医療サービスの組み込みを促進する。
	6. 全体での研修及び、個別の研修計画・目標を立て、スキル向上、自己研鑽につなげる。
	7. 虐待防止の推進、感染症対策の委員会の開催および、業務継続計画・BCP（災害、感染）訓練を実施し、情報を共有し、課題への取り組みを行う。
	8. 職員（ケアマネ）の増および育成へ取り組み、新規利用者など受け入れ可能な体制を維持する。

令和6年度 要介護度別利用状況

月	支援 1	支援 2	小計	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	小計	合計
4月	3	11	14	28	27	15	15	3	88	102
5月	2	11	13	27	27	15	15	3	87	100
6月	2	11	13	29	25	16	17	2	89	102
7月	2	11	13	30	25	16	15	2	88	101
8月	2	12	14	27	25	15	16	2	85	99
9月	2	11	13	23	22	15	13	3	76	89
10月	2	11	13	23	24	15	12	2	76	89
11月	2	11	13	23	22	19	14	1	79	92
12月	2	10	12	23	25	19	15	1	83	95
1月	2	10	12	26	25	16	14	0	81	93
2月	2	10	12	25	22	17	15	1	80	92
3月	2	11	13	26	23	18	14	1	82	95
	25	130	155	310	292	196	175	21	994	1149

1. 村内ケアマネ連絡会開催（3ヶ月に1回）

回	参加日	場所	参加者	全参加者
第1回	R 6年 6月 14日	今帰仁村社会福祉協議会	4人	20人
第2回	R 6年 8月 23日	今帰仁村役場 2F	3人	30人
第3回	R 6年 11月 8日	今帰仁村社会福祉協議会	3人	16人
第4回	R 7年 2月 14日	〃	2人	15人

2. グループホームほしくぼ運営推進会議

回	参加日	場所	参加者
第回	R 年 月 日	ほしくぼ、わくがわ	コロナ感染予防で中止 0人

3. 地域密着型デイサービス・ハイビスカス運営推進会議

回	参加日	場所		参加者
第 回	R 年 月 日	デイサービスハイビスカス	コロナ感染予防で中止	0 人

4. 日常的に介護する家族への、介護保険以外に支援が必要な事例検討会

参加日	内 容	場 所	参加者
R 7 年 1 月 20 日	介護保険以外の必要な知識、社会資源の検討	今帰仁社協	4 人

5. 各研修会へ参加

参 加 日	研 修 会 名 称	場 所	参 加 者
R 6 年 4/1~4/30	支援計画の留意点（プラン点検）	今帰仁社協	4 人
R 6 年 4 月 23 日	業務継続計画（BCP）について	今帰仁社協	3 人
R 6 年 6 月 13 日	6 年度介護報酬改定のポイント	オンライン	1 人
R 6 年 6 月 14 日	応急手当について	今帰仁社協	4 人
R 6 年 7 月 8 日	介護支援専門員 倫理綱領	今帰仁社協	4 人
R 6 年 8 月 23 日	ちゅいしいじい連絡会について	今帰仁村役場	2 人
R 6 年 8/9~9/20	介護支援専門員研修Ⅱ（5 日間）	オンライン	1 人
R 6 年 10 月 11 日	北部ケアマネ協会・BCP の取り組み	オンライン	1 人
R 6 年 11 月 8 日	事例検討会（村ケアマネ連絡会）	今帰仁社協	3 人
R 6 年 11 月 11 日	高齢者虐待、身体拘束について	今帰仁社協	4 人
R 6 年 12 月 19 日	認知症について	今帰仁社協	4 人
R 7 年 1 月 17 日	県ケアマネ研究大会 in 名護	名護市民会館	3 人
R 7 年 1 月 29 日	ケアプラン点検	広域連合	2 人
R 7 年 2 月 7 日	ハラスメントについて	名護市	1 人
R 7 年 2 月 20 日	ちゅいしいじい連絡会について	今帰仁社協	2 人
R 7 年 3 月 14 日	今帰仁社協全体研修 「相手をその気にさせる心理学」	今帰仁社協	4 人

13. 障がい福祉サービス事業

事業名	今帰仁村児童デイサービス スイミー
事業目的	児童及び児童の保護者の意志及び人権を尊重し、利用児の立場に立った適切な指定サービスの提供を確保することを目的とする。
開所日	月曜日～土曜日
事業費	【収入】22,264,998円 【支出】19,640,006円
利用対象	今帰仁村、本部町、名護市より通所給付決定を受けた児童
実施した事業内容	<p>【児童発達支援事業】 対象：未就学児（～6歳） 利用児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、ならびに集団生活に適応することができるよう適切かつ効果的な指導訓練を行う。 <u>*利用児：利用児なし</u> ※令和7年3月31日現在</p> <p>【放課後等デイサービス事業】 対象：就学児（7歳～18歳） 利用児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることが出来るよう、適切かつ効果的な指導訓練を行う。 <u>*利用児 15名（男児：11名、女児：4名）</u> ※令和7年3月31日現在</p>
利用者状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用児登録数：15名 ※令和7年3月31日現在 (男女比率：男11名、女4名) (今帰仁村：14名) (本部町1名) 新規利用児数：1名 終了児童数：2名 (高校修了・中学入学部活に入部)

利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放課後等デイサービス事業	14	14	14	14	12	15	15	15	15	15	15	15	173
延人数	206	187	193	203	176	196	211	199	193	180	190	215	2,349

成果 ・ 課題	<p>令和6年度、児童デイサービス・スイミーは(令和7年3月31日現在)放課後等デイサービス事業15名の子どもたちが元気いっぱい通ってくれました。</p> <p>毎年恒例となってきた古宇利の宮城さんのご厚意で実現した古宇利島クルージングを体験し、古宇利島のハートロックを海側の船上から見るという体験をすることができました。</p> <p>コロナ渦を終え、少しずつですが、いろんな活動を再開する中で自分たちが暮らす地域に目を向けられたり、地域の方々の優しさに触れられる体験が出来ました。</p>
---------------	--

成果 ・ 課題	<p>また、事業所内での行事も例年通り盛り上げて実施することができたと思います。日々の活動や行事を通して、子ども達の生き生きとした表情や成長を見守る中で、子ども達から学ぶ事の方がたくさんあり、私たちスタッフも日々成長させられる一年となりました。</p> <p>何より、子どもたちが笑顔で通所し、笑顔で帰宅していくことが本当にありがとうございました。</p> <p>次年度も職員一同子どもたちと共にスイミーのモットーである「楽しい！うれしい！できた～！」を共感し、笑顔いっぱいあふれる場所であるよう努めていきたいと思います。</p> <p>令和6年度も児童発達支援事業の実績がなく、ここ数年実績が無いため今後は廃止の形で持って行こうと考えている。</p>
次年度の目標	<p>保護者との交流や地域との交流ができる場を多く作っていきたい。</p> <p>また安心・安全に利用してもらえるよう職員同士の信頼関係、利用児・保護者との信頼関係を構築し日々楽しいがあふれる事業所にしたい。</p>

研修参加状況

内部研修			
4月	BCPについて	9月	自閉症スペクトラムについて (境界線が曖昧な障害の事)
5月	虐待防止について	11月	感染症対策について
6月	てんかんについて	2月	安全計画について
6月	応急手当並びに救急法について	3月	社協職員研修

集団指導や主な活動・行事

4月	オリエンテーション（資料配布）・鯉のぼり制作
5月	こいのぼり見学 母の日制作・誕生日会（4月・5月）
6月	父の日制作、わらべうた（布あそび）
7月	七夕パーティー、誕生日会（6月・7月・8月）、新聞ビリビリ（感覚遊び）
8月	水遊び・クルージング体験（古宇利内海）・夏の遠足（ボウリング）
9月	敬老の日制作
10月	地域散策、ハロウィン制作・ハロウィンパーティー
11月	焼きいもパーティー、地域散策・誕生日会（10月・11月）
12月	クリスマスパーティー・地域散策
1月	書き初め・節分制作・もちつき・誕生日会（12月・1月）
2月	節分、地域散策、ひなまつり制作・大感謝会制作
3月	ひなまつりパーティー、修了式及び大感謝会

事業名	障がい者ホームヘルプ事業(訪問介護事業所と兼務)
事業目的	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な居宅介護及び、重度訪問介護の提供を図る事を目的に行う。
サービス提供日	月曜日～日曜日(ただし、天災その他やむを得ず業務ができない日を除く)
事業費	【収入】6,918,739円 【支出】6,562,602円
利用対象	障害支援区分を受けた障害者(区分1～6)
実施した事業内容	<p>*居宅介護(障害者の方への訪問介護) 【家事援助】調理、洗濯、掃除等の生活の援助を行います。 その他、関係機関への連絡等、必要な家事を行います。 【身体介護】入浴や排泄、食事等の介助をします。</p> <p>*重度訪問介護(重度の身体不自由者で常時介護を必要とする方が対象) 【身体介護】入浴や排泄、食事、衣服の着脱といった介助、その他必要な身体介護を行います。</p> <p>*さわやか地域生活さぽーと(社協自己財源事業) 単身世帯、高齢世帯及びこれに準ずる世帯並びに障がい児者の世帯で、既存のサービスの狭間にある家事援助を行います。</p> <p>*移動支援 身体・知的・精神に障害をお持ちの方(発達障害を含む)、難病をお持ちの方、その他心身の機能に障害がある方の外出支援を行います。</p> <p>*養育支援訪問事業 食事・衣服・生活環境等について不適切な養育状態にある家庭、また、虐待の恐れやその他村長が必要と認めた家庭に対して育児・家事援助を行います。</p>
利用者状況	令和6年度利用者数：6名 *令和7年3月31日現在 新規利用者：1名 利用終了者：1名(重度訪問介護を利用する事になった為) 男女比：男性1名、女性5名、平均年齢：51歳、平均障害支援区分：4
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様に寄り添いながら支援を行うことができた。 ・ヘルパーとのコミュニケーションやヘルパーが調理する食事を楽しみにし、「いつもヘルパーが来るのが楽しみさー」と利用者の声が聞かれる。孤立せず安心して在宅生活を送ってもらえるよう、訪問介護サービスの必要性を改めて感じた。 ・今年のささやかプレゼントは、ヘルパー全員でおでんとアガラサーを調理しあり届けた。利用者からは「毎年の楽しみにしている。毎月あってもいいね」「アガラサーの甘さがちょうどよく、もっと食べたかった」などの声があった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化するニーズに対応できるよう、職員一人一人のスキルアップ。

研修参加状況

	研修内容	研修場所
4月	個人情報とプライバシー保護について	訪問介護事業所
5月	接遇について	訪問介護事業所
6月	苦情について	通所介護事業所
7月	応急手当について	訪問介護事業所
8月	口腔ケアについて	訪問介護事業所
	ちゅいしいじい連絡会	今帰仁村役場
9月	災害時の対応について（業務継続計画）	訪問介護事業所
10月	感染症について	訪問介護事業所
11月	虐待防止・身体拘束防止について	訪問介護事業所
1月	認知症について	訪問介護事業所
2月	調理実習（おでん・アガラサー作り）	調理実習室
	介護技術研修（腰痛予防体操）	スイミー
	ちゅいしいじい連絡会	今帰仁村社協
3月	社協職員全体研修「相手をその気にさせる心理学」	2階会議室
	事業所評価・自己評価	訪問介護事業所
次年度の目標	・訪問先での困りごとの発見や関係者との連携を図る ・次世代へ向け若年層の人材確保ができるよう、魅力的な職場作りに努める	

居宅介護 月別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	6	6	6	6	6	5	6	6	5	5	5	6	68
延回数	190	205	207	189	191	131	207	168	131	130	127	129	2005
延時間	130	142	145	127	135	102	148	123	102	102	99	99	1454

移動支援 月別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	4
延回数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	4
延時間	0	0	0	0	0	0	2.5	1.5	0	0	3	0	7

さわやかサポート 月別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

養育支援訪問事業 月別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

事業名	今帰仁村社協指定計画相談支援・障害児相談支援事業所（アイリス）
事業目的	計画相談支援及び指定障害児相談支援は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ちながら、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう配慮するとともに、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行います。
開所日	月～金
事業費	【収入】4,576,660円 【支出】2,675,501円
利用対象	障害認定を受けている方
利用者 状況	令和6年度利用者数 登録件数：94名 ※令和7年3月31日現在 新規利用者数：10名、中止利用者数：3名（更新なし3名 転居0名、移動0名） 男女別：男性55名、女性39名
成 果	<ol style="list-style-type: none"> 利用者の自立に向けて、保健、福祉、医療、就労など様々な関係機関と調整し、その人の希望するサービス事業所の利用や地域社会参加につなぐ支援ができた。 変化が大きい児童、生徒の通う保育所（未就学児）小中学校、高校へ出向き、教育委員会とも連携を密にし、予想される課題に対応できる様に支援ができた。 障がい児の相談支援員においては村内に社協のみで、北部地域に相談支援員が少ない中、新規を含め、支援が必要な障がい児、者へ適正な社会資源の提供ができた。 医療的なケアが必要な利用児、者の保護者からの相談を受け、情報提供、関係機関との連絡調整を行い体調維持につなぐことができた。 虐待防止、身体拘束の禁止、感染症予防の委員会へ参加、研修を実施することが出来た 感染対策を行いながら、相談支援部会、こども部会、従事者研修などでの情報交換、勉強会が実施継続できた。
課 題	<ol style="list-style-type: none"> グループホーム、A型就労が人員不足で縮小または閉鎖し必要な支援調整が困難になっている。 キーパーソンとなる家族と連絡が取りづらいなど、支援の変更、サービス会議調整などに時間を要した。 毎月の支援費が不安定（モニタ、計画作成実績のみ請求）で低く、相談支援員の人員配置が困難。 引き続き、村内・北部地域において相談支援員の増と育成が必要である。相談支援事業所が足りないことで、利用者のニーズに応えられない場合も考えられる。

次年度の 目標	1. 利用者や家族の要望を受け止め、更に自立支援と、充実した生活の実現を前提とした相談支援を行う。
	2. 障害者（児）の課題解決や自立支援に向けて、関係する機関でのケアカンファレンス（担当者会議やモニタリング会議）で連携し、より良い支援の構築をめざす。
	3. 県主催の研修会や北部圏域の相談支援部会が行う研修会等に参加し相談支援員としての資質向上を図る。
	4. 引き続き、相談支援事業所の増および、経営の維持を行政へ訴えると共に、村内の障害福祉サービス事業所へ相談支援員増の協力を働きかける。
	5. 法人内職員が相談支援員の研修を受講し、資格者の増員に取り組む。

令和6年度 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	88	88	90	90	91	91	90	92	92	92	92	94	1090
実績人数(者)	7	11	8	9	5	13	10	10	9	6	6	14	108
実績人数(児)	11	12	8	6	8	7	8	12	7	6	6	19	110
新規	2	0	2	0	1	0	0	3	0	0	0	2	10
中止	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3

参加研修

参加日	研修会名称	場所	参加
R 6. 4/16,6/11,8/13, 10/8, 12/10 R 7. 2/13	第1回～6回 相談支援部会	今帰仁役場	2人
R 6. 7/11, 11/25	北部圏域障害者相談支援従事者等研修	北部合同庁舎	1人
R 6. 5/15,9/18, R 7. 1/22	第1回～3回今帰仁村地域自立支援協議会子ども部会	今帰仁役場	1人
R 6. 5/15	障がい児・者 虐待、身体拘束について	今帰仁社協	2人
R 6. 6/14	応急手当について	〃	1人
R 6. 8/22	北部圏域相談支援専門員連絡会	北部福祉事務所	2人
R 6. 11/19 12/18～12/19	沖縄県相談支援従事者現任研修	オンライン	1人
R 6. 12/19	感染症について	今帰仁社協	2人
R 7. 3/18	今帰仁社協全体研修 「相手をその気にさせる心理学」	〃	2人

事業名	ソーシャルサポート おとばの杜(指定就労継続支援 B型)																										
事業目的	利用者の働きたい、仲間や生きがいづくり等の願いを通して、①生産活動と販売活動、②社会性を身につける社会参加活動、③就労に向けての実習や訓練等の支援、④利用者が自立した日常生活、または社会生活を営むことが出来るよう利用者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動やその他地域参加活動を通して、その知識及び能力の向上を図るために必要な訓練やその他の便宜を適切かつ効果的に行う。																										
開所日	月～金（通年）※パンの製造・販売は月、水、金（火、木曜、祝日休み）																										
事業費	【収入】64,259,040円 【支出】61,237,163円																										
対象	就労移行支援事業等を利用したが一般企業の雇用に結びつかない者や、一定年齢に達している者などであって、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方。																										
事業内容	<p>パンの製造・販売 ◎パンの成形・袋詰め等。販売は今帰仁村、名護市、本部町などで行った。</p> <p>厨房業務 ◎社協通所利用者の昼食、一般販売用の弁当の調理等（洗い物、野菜の準備、皮むき、室内清掃）を行った。</p> <p>資源回収、清掃、請負、手工芸品作り ◎地域からの提供品（衣類や雑貨、アルミ缶、食器、古紙、段ボール回収） ◎請負作業（草刈り、清掃等） ◎ウエス作り ◎よもぎ選別作業 ◎地域スーパー、自練などのホール、トイレ清掃 ◎シークヮーサー収穫 ◎化粧箱組み立て ◎手工芸作品及び干支の置物の制作を行った。</p> <p>農園作業 ◎敷地内の畑で、野菜と花の苗栽培等の生産を行いました。 ◎年間を通し、施設外実習として農家の補助（手伝い）作業等で実習を行った。</p>																										
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度利用登録者数：26名 ※3月31日現在 新規利用者数：3名・（途中退所4名） 男女比：男性 9名、女性 17名 定員33名 <p style="text-align: center;">【利用実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>累計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>477</td><td>490</td><td>431</td><td>453</td><td>447</td><td>422</td><td>446</td><td>452</td><td>468</td><td>434</td><td>410</td><td>466</td><td>5396</td></tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	477	490	431	453	447	422	446	452	468	434	410	466	5396
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計															
477	490	431	453	447	422	446	452	468	434	410	466	5396															
効果・課題	本人の能力やニーズに合った取り組みを行い、意欲向上や安定した活動につながっている。																										
次年度の目標	農福連携を行い、充実した生活と工賃向上に向け頑張っていけるよう支援を行う。																										

事業名	ソーシャルサポート おとばの杜(指定生活介護事業)																										
事業目的	利用者の仲間作りや生きがいや働きたいという願いを通して、①創作活動や生産活動、②社会性を身につける社会参加活動、③利用者が自立した日常生活（社会生活）を営むことができるよう、機能維持、向上のための訓練や活動、これらを適切かつ便宜を払い効果的に行っていく。																										
開所日	月～金（通年）※パンの製造・販売は月、水、金（火、木曜、祝日休み）																										
事業費	【収入】14,559,497円 【支出】12,889,623円																										
対象	常時介護等の支援が必要な方。																										
事業内容	<p>生産活動</p> <p>◎よもぎ選別作業 ◎パン販売用のラベル貼り等</p> <p>◎化粧箱組み立て作業</p> <p>創作活動</p> <p>◎木工製品のペーパー磨き、ペンキぬりなどを行った。</p> <p>販売活動</p> <p>◎農園で収穫した野菜等を社協内で、販売した。</p> <p>ウィッキル(除菌水)の販売</p>																										
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度利用登録者数：4名 ※3月31日現在 新規利用者数： 0名（途中退所 0名） 男女比：男性1名、女性3名 平均年齢：40歳 <p>※定員7名</p> <p>【利用実績】</p> <table border="1"> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>累計</th></tr> <tr> <td>73</td><td>75</td><td>70</td><td>59</td><td>81</td><td>76</td><td>84</td><td>70</td><td>81</td><td>75</td><td>71</td><td>79</td><td>894人</td></tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	73	75	70	59	81	76	84	70	81	75	71	79	894人
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計															
73	75	70	59	81	76	84	70	81	75	71	79	894人															
効果・課題	体温チェックもしっかりと行えており、健康維持につながる意識に繋がってきていると思います。																										
次年度の目標	安全に気をつけ作業参加できる配慮を行い、楽しく日中活動参加できるよう支援を行う。																										

事業名	日中一時支援事業(村役場からの受託事業)
受託費	834,800円
事業目的	障害者の日中における活動の場を確保し、利用者の家族の一時的な負担軽減を図ることを目的とする。
開所日	月～土

◎日中一時間支援事業 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
日中一時支援事業	37	35	34	26	28	34	46	33	31	35	33	41	413人

ソーシャルサポートおとばの杜 活動報告

指定就労継続支援 B型事業

指定生活介護事業

*年間定例業務	<ul style="list-style-type: none"> ・パン製造、販売 ・請負清掃作業 ・農園作業全般 ・リサイクル回収（古紙、アルミ缶） ・シークワーサー収穫 ・空き缶分別 ・レストラン（厨房作業） ・ウエス作り ・パン用ラベル貼り ・除菌水、管内販売 ・木工品つくり ・化粧箱つくり ・よもぎ選別 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業（毎日）利用者の生活や困りごとの相談 ・生活介護訪問検診（年4回） ・誕生日会 ・職員研修（内部、外部） ・利用者工賃支給 毎月（10日） ・カラオケ交流 毎月（第2木曜日） ・職員ミーティング 每月（第1火曜日）
	<p>自治会活動</p> <p>○毎月第3木曜日</p>	

参加した研修会等

参加日	研修名	参加職員
6月18日	報連相について	12名
8月27日	熱中症について	12名
10月22日	心肺蘇生法、AEDについて	12名
11月12日 26日	北部圏域サービス管理責任者スキルアップ研修	1名
	虐待防止委員会	1名
1月28日	パワーハラスメントの防止について	12名
2月27日	サービス管理責任者更新研修	1名
3月6日 14日	車イスからの移乗の仕方について	12名
	社協全体研修	13名

※感染症予防の為、三密を考慮し内部研修を行いました。

14. 団体事務

令和6年度 今帰仁村民生委員児童委員協議会事業報告

月 日	活 動 内 容	備 考
4月 2日 18日 23日	村民児協定例会 北部地区民児協総会、会長研修 村民児協役員会	村社協 名護市 村社協
5月 7日 12日 21日 24日 28日	村民児協定例会 民生委員児童委員の日活動強化週間広報（～18日） 子育て会議（代表者会議） 村政功労者表彰祝賀会参加 村民児協役員会 村民児協会計監査	村社協 村内 村内 コミセン 村社協 村社協
6月 4日 25日 26日 27日 28日	村民児協定例会 村民児協役員会 天底小学校との顔合わせ会 県民児協総会・会長研修 村老人クラブ大会参加 字慰靈祭、県平和祈願祭参加	村社協 村社協 天底小学校 那霸市 コミセン
7月 2日 4日 5日 23日	村民児協定例会 北部地区主任児童委員研修会 なきじん結ネットワーク連絡会 民児協役員会 チャービラサイ運動物品配布	村社協 名護市 村社協 村社協 各担当区
8月 6日 30日 31日	村民児協定例会 メンタルヘルス研修会 村まつり参加 友愛訪問対象者調査	村社協 那霸市 村内 各担当区
9月 3日 7日 24日 29日	村民児協定例会 県身障者スポーツ大会介助ボランティア 村民児協役員会 今帰仁村しゃきょうふれあいまつり参加 赤い羽根共同募金協力事業所確認	村社協 沖縄市 村社協 村社協 各担当区

月 日	活 動 内 容	備 考
10月 1日	村民児協定例会	村社協
9日	沖縄県社会福祉大会参加	宜野湾市
16日	村平和祈願祭参加	村内
22日	村民児協役員会	村社協
29日	民生委員児童委員初任者研修会	名護市
29日	乙羽園秋祭り参加	乙羽園
	赤い羽根共同募金活動への協力	各担当区
	字豊年祭参加	村内
11月 5日	村民児協定例会	社協
〃	歳末たすけあい対象者調査への協力 ☆	各担当区
〃	赤い羽根共同募金活動への協力	各担当区
7日	ふれあう心やんばるの集い参加	国頭村
15日	村民児協視察研修会 (琉球リハビリテーション学院他)	金武町他
19～22日	全国民生委員児童委員大会	宮崎県
26日	村民児協役員会	村社協
12月 3日	村民児協定例会	村社協
6日	村身体障害者福祉協会視察の介助ボランティア	うるま市
19日	中堅民生委員児童委員研修会	那覇市
24日	村民児協役員会	社協
25日	歳末助け合い配布	各担当区
1月 9日	民児協定例会	社協
18日	社協もちつき大会参加	社協
28日	村民児協役員会	社協
2月 10日	全国民児連会長表彰伝達式	那覇市
13日	村民児協定例会	社協
15日	結ネットワーク連絡会	社協
25日	村民児協役員会 友愛訪問のお菓子配布	那覇市 担当区
3月 4日	村民児協定例会	社協
6日	社協理事会	社協
12日	県民児協総会・会長研修会	那覇市
14日	村議会傍聴	役場
19日	北部地区正副会長・主任児童委員研修会	国頭村
25日	村民児協役員会	社協
26日	社協評議委員会	社協

【継続的な活動】

- 1, 地域での相談・支援・訪問活動 (隨時) 5, 各字見守り隊への協力
- 2, 今帰仁村民児協役員会: 每月 第4 (月) 6, なんでも相談 (毎月1回各公民館)
- 3, 今帰仁村民児協定例会: 每月 第1 (月) 7, 社協地域食堂への協力
- 4, 活動記録の整理・点検: 每月 8, ミニデイサービスへの協力

令和6年度 今帰仁村老人クラブ連合会月別事業報告

期日	事業内容	期日	事業内容
4月 3日 3日 23日 26日	理事会・女性部合同会議（31名） 事業推進委員会 乙羽園誕生日会友愛訪問（中止） 社協デイサービス友愛訪問（中止）	10月 2日 3日 8日 24日 25日	理事会（21名） 第50回北部地区芸能大会（天底校区21名） 村老連レクリエーション講習会（60名） 沖縄県老人クラブ大会（名護市民会館） 老人婦人スポーツ大会役員会（7名）
5月 3日 8日 8日 14日 17日 21日 24日	村老連 監査 理事会（21名） 老人クラブ大会表彰委員会 北部市町村老連担当者会議 村老人パークゴルフ大会（91名） 北部老連レクリエーション講習会（8名） 沖縄県市町村老連事務担当者研修会	25日 29日 30日 11月 3日 6日 28日～29日	社協デイサービス友愛訪問（中止） 乙羽園誕生日会友愛訪問（中止） 北部地区グラウンドゴルフ大会（10名） 第50回今帰仁村老人婦人スポーツ大会（約500名） 理事会（17名） 市町村老連幹部宿泊研修会（2名）
6月 5日 7日 11日 14日 25日 28日	理事会（21名） 村老人婦人スポーツ大会役員会（6名） 社協デイサービス誕生会（中止） 北部老連女性委員会 乙羽園友愛訪問（中止） 第50回今帰仁村老人クラブ大会（170名）	12月 4日 6日 6日 17日 18日～19日 24日 26日	理事会・女性部合同会議（忘年会）（28名） 北部老連パークゴルフ大会（宜野座村） 今帰仁村各種団体スポーツ大会 社協デイサービス誕生会（中止） 沖縄県女性リーダー宿泊研修会研修会（2名） 乙羽園誕生日会友愛訪問（中止） 社協デイサービス誕生会（中止）
7月 3日 12日 19日 26日	理事会（20名） いきいきクラブ体操普及指導員養成講習会 北部地区老人クラブ大会 第32回村老連グラウンドゴルフ大会（146名）	1月 8日 2月 5日 7日 15日 20日 25日	理事会（20名） 理事会・事業推進委員会（18名） 村老連女性部会（12名） 理事・女性部合同社会見学（25名）（読谷～うるま） 社協デイサービス友愛訪問（中止） 乙羽園誕生日会友愛訪問（中止）
8月 8日 8日 15日 23日 20日 27日 31日～1日	北部地区女性委員会 理事会・女性委員合同会議（30名） 村老連レク講習会（村まつり練習）中止 今帰仁村老連ボウリング大会（52名） 乙羽園誕生日会友愛訪問（中止） 社協デイサービス誕生会（中止） 今帰仁村まつり	3月 4日 5日 21日	社協デイサービス誕生会（中止） 理事・女性部合同会議（29名） 村老連春のグラウンドゴルフ大会（182名）
9月 4日 11日 11日～12日 20日 25日 27日	理事会（21名） 社協デイサービス誕生会（中止） 市町村老人クラブ幹部宿泊研修会（3名） 今帰仁村老人芸能発表会（300名） 北部地区ボウリング大会 今帰仁村老連一斉奉仕作業（60名）		